

一般社団法人 日本医学教育評価機構  
令和 6 年度 事業報告  
(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

I. 事業の実施にあたっての基本的方針

日本医学教育評価機構の目的は、定款第 3 条において「わが国の医学教育の質を国際的見地から保証することによって、医学教育の充実・向上を図り、わが国の保健、医療、福祉、衛生、並びに国際保健に貢献するため、医学部・医科大学等における建学の理念を確認するとともに、世界医学教育連盟（WFME）の国際基準をふまえて医学教育プログラムを公正かつ適正に評価することを目的とする。」と定めている。また、定款第 4 条において、目的を達成するために以下の事業を実施することとしている。

- (1) 医学教育プログラム評価基準の策定と改訂
- (2) 医学教育プログラムの評価事業
- (3) 医学教育プログラムの充実・向上に関する教育事業
- (4) 医学教育プログラムの充実・向上に関する調査研究
- (5) 医学教育プログラムに関する機関誌及び学術図書等の発行
- (6) 国内外関係機関との連携及び諸外国の医学教育評価の情報収集
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

当機構は、定款に定められた目的及び事業を達成するため、組織体制と評価態勢の整備を図りながら、医学教育分野別評価を実施するとともに、公正・適切な評価のための調査研究、国内外関係機関との連携及び情報収集、広報活動等を実施した。

II. 令和 6 年度における各部会・委員会の事業報告

◆企画・将来構想委員会

企画・将来構想委員会は、運営全般に関わる重要事項の検討及び円滑な事業運営のために必要な事項を定めるための委員会として設置されている。令和 6 年度は主に内部質保証委員会がまとめた外部評価報告書に記載された「改善のための助言」の事項について、該当委員会及び部会宛に検討依頼を行い、組織体制等の見直しを行った。

◆評価・認定問題検討委員会

平成 31 年に本委員会は発足し、不適切入試に関連する対応が決定した後は活動を停止していたが、令和 6 年に評価結果に疑義の生じる問題が新たに起こったため、令和 7 年 1 月に委員会を再開した。令和 6 年度においては対応方針を検討し、事実確認のためのヒヤリングなどについて来年度の計画を立てた。

## ■ 総合評価部会

評価事業の統括を担う当部会では、評価方針、評価基準、評価法、認定など、評価事業に係る審議を行っている。令和6年度においては総合評価部会を3回開催し、各委員会（評価委員会、基準・要項検討委員会、異議審査委員会、研修委員会）で協議された事項の審議を行った。

### 【令和6年度 認定医学部・医科大学】

医学教育分野別評価の結果、理事会の議を経て、1巡目5大学、2巡目6大学を認定した。

認定が確定した大学は以下のとおりである。認定大学には、認定証を交付するとともに、当機構ホームページにおいて認定したことを公表した。

#### ■ 1巡目認定大学

| 大 学 名    | 認 定 期 間                         |
|----------|---------------------------------|
| 東北医科薬科大学 | 2024 年 6 月 1 日～2031 年 5 月 31 日  |
| 国際医療福祉大学 | 2024 年 6 月 1 日～2031 年 5 月 31 日  |
| 高知大学     | 2024 年 6 月 1 日～2031 年 5 月 31 日  |
| 福井大学     | 2024 年 10 月 1 日～2031 年 9 月 30 日 |
| 島根大学     | 2024 年 10 月 1 日～2031 年 9 月 30 日 |

#### ■ 2巡目認定大学

| 大 学 名    | 認 定 期 間                         |
|----------|---------------------------------|
| 藤田医科大学   | 2024 年 6 月 1 日～2031 年 5 月 31 日  |
| 筑波大学     | 2024 年 10 月 1 日～2031 年 9 月 30 日 |
| 横浜市立大学   | 2024 年 10 月 1 日～2031 年 9 月 30 日 |
| 京都大学     | 2025 年 2 月 1 日～2032 年 1 月 31 日  |
| 大阪公立大学   | 2025 年 2 月 1 日～2032 年 1 月 31 日  |
| 奈良県立医科大学 | 2025 年 2 月 1 日～2032 年 1 月 31 日  |

## ■ 評価委員会

医学教育分野別評価基準 Ver. 2.36 に基づき、公正かつ適正に医学部・医科大学等における医学教育評価を実施した。令和6年度はハイブリッド形式の委員会を17回開催し、13 医学部・医科大学等の評価を行って評価報告書（案）を作成した（2巡目の評価12大学、1巡目評価の追加審査1大学）。

また、評価における諸課題を解決するため、評価方針についての審議（評価チームの構成、評価基準の適応、自己点検評価書の書面調査・実地調査のあり方、評価判定のあり方、3巡目の評価の実施方法等）を行い、評価の適正化、効率化を検討した。

## ■ 基準・要項検討委員会

基準・要項検討委員会では、「日本医学教育評価基準 2025 年版」、「『日本医学教育評価基準 2025 年版』に関する評価基準 項目」の作成、「医学教育分野別評価-評価員の手引き- Ver. 2.1」の改訂を行った。

「日本医学教育評価基準 2025 年版」に関しては、令和 6 年 8 月 1 日～令和 6 年 9 月 30 日まで「日本医学教育評価基準 2025 年版 Ver. 1.0 (案)」意見募集（パブリックコメント）を行い、基準・要項検討委員会では意見募集（パブリックコメント）を受けて、評価基準について時間をかけ丁寧に検討を行った。

#### ■異議審査委員会

令和 6 年度において異議審査委員会は Web 形式の委員会を 3 回開催した。

異議申請があった大学は計 7 大学で、1 巡目の評価に対する異議が 2 大学、2 巡目の評価に対する異議が 5 大学であった。名称に関する異議が計 15 件、内容に関する異議が計 14 件であった。

いずれの異議審査も、公正かつ客観的な審査を行うため、評価チームの主査と評価委員会委員長の出席のもと、COI のない異議審査委員会委員により審議を行った。

#### ■研修委員会

令和 6 年度は、①「自己点検評価書の作成に関する講習会」、②「評価員養成ワークショップ（新人 WS）」、③「主査ワークショップ」を研修委員会の企画として実施した。①は、2 巡目の受審大学 11 校を対象として実施した。②は、従来の新人 WS を 2 巡目の受審に対応した内容に修正し実施した。参加実績は 23 名であった。③は、令和 6 年度に主査および副査を担当する評価員 9 名を対象に、主査および副査の役割と業務、評価の方針や方法についての情報を共有した。なお、「事務担当者向け説明会」は令和 5 年度同様、対象大学（令和 7 年度受審予定大学医学部等）に対して受審準備の参考となる説明動画を配信した。また、新たな日本医学教育評価基準 2025 年版の説明会について、議論を開始した。

#### ■運営部会

下部委員会（国際関係委員会、財務委員会、調査・解析委員会、広報委員会）からの情報を集約し、機構運営にかかわる案件について協議し、必要な案件に関しては企画・将来構想委員会へ報告を行った。

なお、令和 6 年度は内部質保証委員会にて作成された外部評価委員会からの「改善のための助言」に対する対応について、総合評価部会及び企画・将来構想委員会と連携し確認を行った。

また、下部委員会がそれぞれ懸案事項として抱えている案件について、部会の中で意見交換を行い、今後の機構運営に繋げるべく、検討を行った。

#### ■国際関係委員会

国際関係委員会では、令和 7 年度の世界医学教育連盟（WFME）による評価受審の準備のため、令和 6 年度は 4 回委員会を開催し、12 月に翻訳した資料と共に事前申請書の提出を行った。

また、2 月に 2024 年の年次報告書を WFME に提出した。

3 月には国外医学教育評価機関との連携強化として、アジア認証評価機関会議（AAMA）の合同会議に参加した。

#### ■財務委員会

事業計画と予算策定、事業報告と収支決算について精査し、健全な財務運営のための審議を行った。

収支バランスの赤字が続き、その悪化が深刻と考えられたため、今後の財務改善のためのシミュレーションを実施し、収支改善のための施策を含めて今後の財政基盤について中長期的視点からの議論を行なった。シミュレーションの結果をもとに、3 巡目の評価のあり方、JACME の事業のあり方についての検討

を企画・将来構想委員会へ依頼することとした。令和7年度に予定されている JACME 設立 10 周年記念事業と WFME 受審のための積み立てを継続すると共に、その使途についての審議も行なった。

#### ■調査・解析委員会

令和6年度については、令和5年度作成の2巡目の評価（7医学部）を対象とした委員会報告書 No. 7 を総合評価部会長へ提出した。また、令和5年10月～令和6年6月に評価が確定した2巡目の評価（6医学部）を対象とした委員会報告書 No. 8、令和5年2月～令和6年10月に評価が確定した1巡目の評価（15医学部）を対象とした委員会報告書 No. 9 を作成した。さらに、1巡目の評価の総括として、1巡目の評価結果の概要、各医学部における good practice から見た JACME による医学教育分野別評価の成果、会員医学部へのメッセージなどをまとめた委員会報告書 No. 10 の作成に取り組んだ。

#### ■広報委員会

令和年度も引き続き、会員大学に対して医学教育分野別評価に関する情報提供及び外部者に対し当機構の活動内容等を発信するための広報活動を行った。広報委員会の企画で、webページから最新の情報発信を行うとともに、電子データによる広報誌「JACME Newsletter」を発行した（No. 15、No. 16）。なお、webページにおいては、和文ページはこれまでと同様に迅速な更新に努め、英文ページについては、日本版を英語に丁寧かつ正確に翻訳すること、独自性を打ち出すことの2点により改修、充実を図った。

### Ⅲ. その他の事業

当機構が2025年で10周年を迎えるにあたって、記念式典及び公開シンポジウムを開催するため、「創立10周年記念事業実行委員会」が設置された。令和6年度は、記念式典及び公開シンポジウムの内容等について検討を行った。令和7年度の開催に向けて順次準備を進めていく。

#### ◇ 会議開催関係

##### ①社員総会

定款の規定に基づき定時社員総会を開催した。

【開催日】 令和6年6月28日

##### ②理事会

定款の規定に基づき通常理事会と臨時理事会を開催した。

###### 第1回理事会

【開催日】 令和6年5月24日

###### 第2回（臨時）理事会

【開催日】 令和6年7月25日

###### 第3回（臨時）理事会（メール審議）

【承認日】 令和6年9月18日

###### 第4回理事会

【開催日】 令和6年11月20日

###### 第5回（臨時）理事会（メール審議）

【承認日】 令和7年1月20日

第6回（臨時）理事会

【開催日】 令和7年1月31日

第7回（臨時）理事会（メール審議）

【承認日】 令和7年2月12日

第8回（臨時）理事会

【開催日】 令和7年3月19日

③部会及び委員会

評価及び認定に関する重要事項の検討、評価報告書、異議申請書、認定の判定等の審議、その他の各種事業計画等を適切に推進するため、部会及び委員会を精力的に開催した。

|              |     |
|--------------|-----|
| 企画・将来構想委員会   | 4回  |
| 評価・認定問題検討委員会 | 1回  |
| 総合評価部会       | 3回  |
| 運営部会         | 4回  |
| 評価委員会        | 28回 |
| 基準・要項検討委員会   | 8回  |
| 異議審査委員会      | 5回  |
| 研修委員会        | 4回  |
| 国際関係委員会      | 4回  |
| 財務委員会        | 3回  |
| 調査・解析委員会     | 4回  |
| 広報委員会        | 2回  |

（※メール審議を含む）

以上